

アポ新聞

ガス浴室暖房で ヒートショックを防ごう

ホームガス課 上田課長

凍えるような冬、“入浴の際に寒い脱衣所で衣服を脱いで、鳥肌を立ててブルブル震えながら浴槽に急ぐ”なんていうことはありませんか？

一般的に日本では、家族が集まる居間などには暖房器具を置いて暖かくしますが、脱衣所や浴室に暖房器具を置いて暖めるといった習慣はほとんどありません。ヒートショックとは、このような急激な温度変化で身体がダメージを受ける事です。冬場の入浴の場合、温かいリビングから寒い廊下を通して脱衣所で服を脱ぐ。この間、体が冷えるため、血管が縮んで血圧はグングン上昇します。ところが湯につかると血管が広がって血圧は急下降します。このように血圧が乱高下することにより、心臓に負担がかかり、心筋梗塞や脳卒中などが起こるのが『ヒートショック』です。

ある調査によると、ヒートショックによる死者数は年間1万7,000人で、年間の交通事故死者数（約4,000人）の約3.8倍にも上ります。

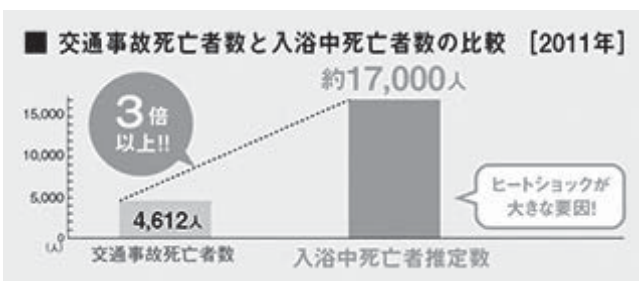
ヒートショックの影響を受けやすい人は高齢者、高血圧や糖尿病の病気をもつ人、動脈硬化のある人などです。また、肥満気味の人や呼吸器に問題があり睡眠時無呼吸症候群などをもつ人、不整脈がある人などもヒートショックの影響を受けやすいといわれています。

冬場の入浴時におけるヒートショックを未然に防ぐためには、居間と脱衣所と浴室の温度差をできるだけ小さくしておくことが大切です。このような事故を防止するためにガス浴室暖房機を取り付けてはいかがでしょうか。

パワフルなガスの力で、頭から足元まで温度ムラが少なく、しかも運転の立ち上がりがとっても早いガス温水式です。入浴前にスイッチを入れ15分後、浴室温度が約35℃に。お年寄りも、高血圧の方も安心してお風呂に入っていただけます。

多くの日本人はお風呂が大好きです。特に、寒くて体が冷えてしまいがちな冬は、1日の終わりにお風呂で体を温めて、湯船でほっと一息つく時間を楽しみにしている人も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。でも、お年寄りや高血圧・糖尿病などの病気をもっている人にとって冬の入浴は常に危険と隣り合わせであることを忘れてはなりません。

ガス浴室暖房機はそんな危険を回避する最適なツールです。取付も約一日で簡単です。ぜひとも快適なお風呂生活を送るためにもガス浴室暖房機を取り付けてみてはいかがでしょうか。



■ 温度差によって変動する血圧イメージ

